THE WOMAN'S WEEKLY

大正七年五月十七日發行　第四卷第二十號　（毎週金曜日發行）　大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□五月の或る日……小橋三四子

□四旬の山岳生活……柳 敬助

□婦人と産（中）……[illegible]博士

□新設された禁酒會の事業……佳子

□悲觀すべき佛國の人口……松山[illegible]

□私の讃美する「長谷川喜多子女史」……記者

□椽側に日向ぼこして……[illegible]

□商人の徳義……目賀田[illegible]子

□初夏の料理……松宮信子

□讀者から「私の望む實際教育」……[illegible]子

□オハナシ「まだらな笛吹」……[illegible]子

□小說「手紙」……渡邊たみ子

□新刊紹介……

□時事……編輯室より……

定價一部五錢　郵税五厘

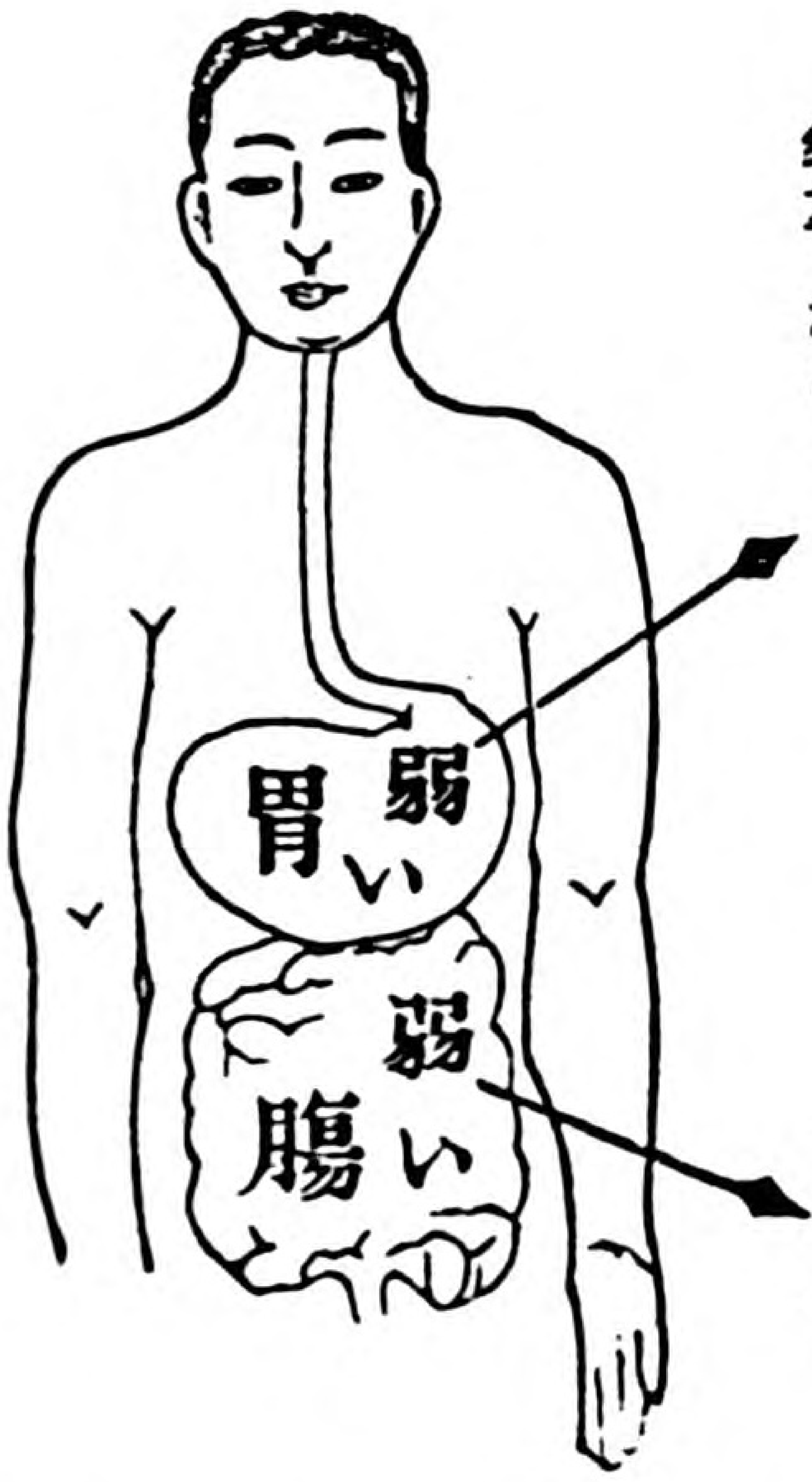
婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯の如きは是皆胃腸の障害！

■ 噯氣または嘔吐を催す。
■ 胸灼けを感じ、胸部が刺さるゝ如く痛む。
■ 食慾減じ、食物の美味の感じを失ふ。
■ 胸むかつき、頭痛眩暈を覺ゆる。
■ 顏面浮腫て意識不明瞭になる。
■ 胸つかえて酸味ある嘔吐を覺ゆ。
■ 舌が白く變色し、又は唾液の分泌が多量くなる。

■ 腹部に膨滿を覺え、便秘を起す。
■ 官覺鈍りて頭脳鬱々とする。
■ 下腹部に疼痛を感じ、腹鳴を起す。
■ 舌の下面部黄色くなり、頻りに渇を覺ゆる。
■ 腹部に壓迫を覺え呼吸困難となる。
■ 顏色蒼白くなる。
■ 腹部に瓦斯が溜滯りて屢々放屁を爲す。



以上の如き胃腸病の徴候に對してホシ胃腸藥は最も的確なる効能を顯し之を原因的に治癒せしむ

ホシ胃腸藥

定價
金二十錢
金五十錢
金一圓

東京京橋南傳馬町
星製藥株式會社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五月の或る日

□貰つた牡丹の花

若葉を打つ雨の香に、靜かに夢を破られた二三日前の朝、郊外に住む友は、目さむるばかりのピンクと眞白の牡丹の花を携へて、夢のやうに訪ねて來てくれました。晴れるのを待つては散りはしないかと案じられてと申しました。早速花瓶に移してその豊麗な、しかも靜かな姿を飽かず眺めながら、この花の由來を聞いて、またなく面白い事に思ふのでした。

友は少女の頃から、大層草花が好きであつたと申します。或る朝隣りに牡丹の花が咲いて居るのを見ると、たまらなく欲しくなりました。それで實を結んだらその實を貰つて育て丶見やうと思つたのです。人は牡丹は實生ではとても咲かぬと云つたが、友は自然に山にも咲いて居る花がどうして、實生で咲かぬ事があらうかとて、益々育て丶見る氣になつたのです。やがて黒い種子を隣家から掌に載せて歸つて來たのは、夏も半ば過ぎた頃でありましたらうか、眞珠のやうに大切に、ピンク、白など丶札を立てゝ、鉢に蒔いて大切に太陽に當て、水を注いでやりますと、やがて翌年小さな芽を出しました。四年五年して木はやう／＼に育ちましたが、花が咲かない、無駄な手入は止めたがよいと人々に云はれながらも、なほ花が咲くとの確信を抱いて、大事に育て丶居つたとの事です。

この頃友の家は町から郊外に移り住んだので、牡丹は鉢から廣々とした大地に植え換へられました。かうしてまた五六年過ぎましたがまだ花が咲きませんでした。然るに種子を蒔いてから十二年目の春に、思ひ掛けなくもピンクに四輪、白に一輪の蕾を持ちました。これを見付けた友は狂喜して喜びましたが、ふと自分を省ると、少女の時代はとくに過ぎて、年長けた女となり、種子を見せた母はもう世に亡かつたので、浦島のやうな嘆きをも味つたとの事です。

それから年々に花は數多く咲くやうになり、今年はピンクが十五六輪、白が四五輪花をつけ二枝三枝を手折つても、何の障りがない程の大きさになつたとの事でした。私は友の赤誠と信仰が咲かせたこの花を、昔のない說教を聞く思ひして更らに仰ぎ見ました。花はゆかしい、薫りを送つて、神秘の曲を奏づるかのやうに、花瓣をふるはしました。

□「早教育と天才」

私は此の頃「早教育と天才」と云ふ書物を讀んで、ヰッテの父が獨創的な考へを持ち、其の子ヰッテに賢明な教育を施し、徹底的にその教育意見を實現した强固な意志に敬意を拂ひました。そして現代の學校教育が、一齊教育で智識の要求に適合したものを與へられない事や、親や教育者の智識教養の不足から間違ひや、不明瞭な知識を以て頭腦を亂させる爲めに、著しく無駄をして居る事やは、どうか改めたい事だと、とうから考へて居つたので、ヰッテの教育に共鳴致しましたが、其の早教育の結果十四歳で大學を卒業したとか、他の子供は十二歳で大家になつたとか云ふ事丈けは、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寧ろ慘酷のやうに感じられてならないのでした。確かに早くから教育したものは學問、音樂、技藝を問はず、苦勞少く上達はしますが、もし早教育に天才といふ結果を豫期して行つたら、大きな間違ひを生じはせぬかと考へるのでした。私共の成長には歳月を要します。實生の牡丹を十二年育てゝ、その花を待つた悠久な心を要します。何事にも速成を喜ぶ現代の人は、或る歳月を要する仕事には、到底忍耐が續かずに、いつも小細工ばかりめぐらして、大きな自然に背いた社會を作り、遂に或る文明に達しながら、再び根底から覆へして築き直さなければならない必要を生じ、戰爭などを初めなければならない始末になります。

□不必要も生活に必要

私の反逆心は、また『早教育と天才』といふ書物を讀みながら、ふとこんな話を思ひ出しました。それは養老院に收容された一老婆が、或るクリスマスの休みを、久し振りで知己の家の留守居番して過しました。すると隣りに女學生が住つて居つて、二三の學友が毎日訪ねて來る、するとこの老婆は何か手作りの菓子を携へては、この若い人々の群れを訪れた。一人の若い人は虚禮廢止會の會員とあつて、今年のクリスマスの贈り物を廢止しやうといふと、滿座の人はこれに雷同する、獨り老婆のみはこれに同意しなかつた。そして『私共のやうに養老院に生活して、必要な品以外に與へられない者には、どんなに不必要なものが欲しいでせう。かうなると日頃不必要と思つた品は、私共の生活のまた必要品であつた事を悟りました』との一哲學を述べる筋だつたと覺えて居ます。教育に不明瞭や誤謬や不正は出來る丈け除きたいものでありますが、無駄をさせまいとして、子供の時代を省いて一足飛びに大人の智識を持つた人は、養老院の生活のやうな或る缺陷を生じはしないでありませうか。否子供時代こそ人生に再び味はれぬ清い尊い時代であつて、この時代を生活の浪費と見る人は、人生の滋味を知らぬ機械的の人間を作る事になりませう。

□約婚の人

本野子爵令嗣が、伊東男爵令孃と婚約して、此處の會、彼處の席に相携へて出席される由をさすがに現代の東京に於ては、別に好奇の眼を注ぐこともなく新聞も亦少しもざれた筆を用ひないで、その消息を傳へて居ります。然るに東京の近縣の某女教員が、土地の縣廳の役人と婚約の間柄であつて、親達も校長も教職員も承知の上であつたに拘らず、公然と會見する事は、宛然、罪の如く噂する人々の口のうるさゝに、遂に用事の序に出京して、會見したのを、校

二

長初め周圍の人々は密會でもしたかの如く云ひ合ひ、新聞も尾に鰭をつけて書き立て、遂に婦人を辭職の止むなきに立ち至らせ、男子には種々の誤解を與へて、この約婚を破るの止むなき狀態に陥らせたといふ事があります。かういふ事實は決して他にも尠くない事であると思ひます。社會の理解の卑いこと、それは一朝に教化する事が出來ない迄も、せめて社會の木鐸を以て任ずる新聞記者や、また社會の啓發者である教育者は、もう少し落着いた觀察と、廣く深い理解を以て、人事の判斷を誤らずに下し、罪なき人の生涯を傷けない用意が大切斗りでなく、たとへ罪があつても、出來る丈け救助して世に生かして行く道を講ずる程の心掛がありたいものであります。

——三、四子——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四旬の山岳生活

平和な別天地

柳敬助

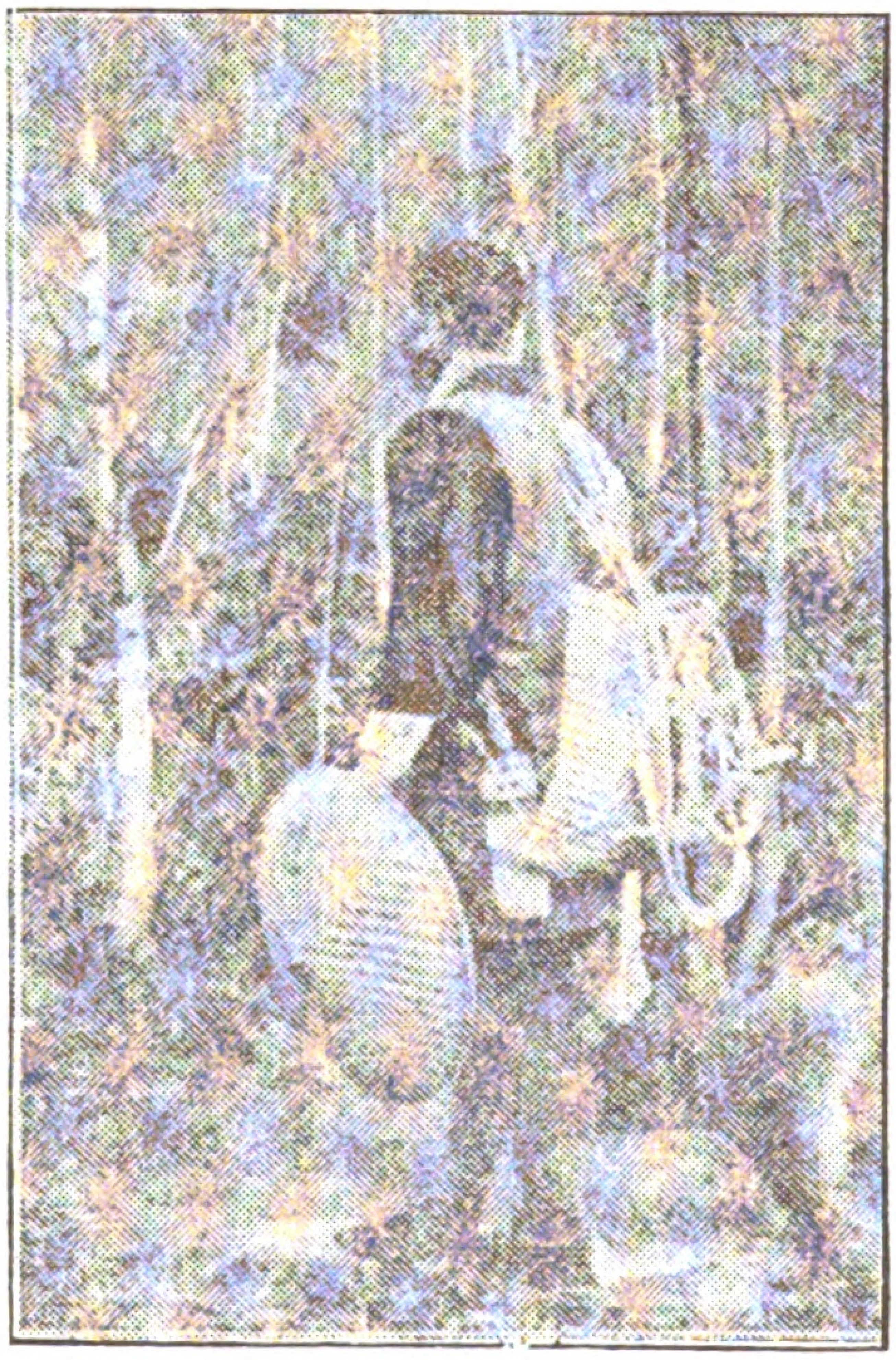
口山を下りつゝ春に遇ふ

日本アルプス連峯中の、飛彈と信州の國境の僻村平湯といふ處に行つたのは、四月初めでありました。用事の爲め餘儀なく一時歸京して見ますと、山上はまだ雪が殘り漸く木の芽の萌え出る早春の景色でありましたが山を下るに從つて、櫻が咲き、桃が笑ひ、次第に春の色が深くなつて來ました。麓はや若葉が茂つて初夏の氣の漲つて居るのを見るのも面白いと思ひました。

口平湯まで

行きには富山から笹津迄輕便鐵道で行き、此處で人を待ち合せて午後の三時になりました。

その人は平湯の村に尊敬されて居る小學教師で、歸りを待つ村人の爲めに、豫め歸村の日を知らせてあつたので明日迄止つて船津通ひの馬車を待つ事が出來なかつたので、笹津から船津迄の十一里を、午後の三時から夜の十一時迄歩き續けて着きました。翌朝また平湯迄八里の道を歩きました。二三里行くと村の青年が一人出迎へに來て、荷物を擔いでくれました。登るに從つて白樺の林に高山の俤が見えて來ます。やがて林の中から喇叭の音が聞えると思ふと、平湯から二里手前の處迄、村の青年が喇叭を吹いて迎へに來てくれました。平湯の村に着いた頃は、もう日はすつかり暮れて居りましたが、小供も年寄りも犬迄も飛び出して全村で迎へてくれました。手には行燈のやうな提灯をさげたりして居りました。



アルプス山中の風俗

口二十戸の小村

平湯の村は海拔四千二百尺の地にあり、二十戸斗りの小村で人口は百人もありませうか、溫泉が湧くので、夏は相應に賑ふさうです。私は同伴した小學校の先生の家に泊らせて貰ふ事にしました。この先生は三十歲ばかりの獨身者ですが、心あつて履歷も名も語られるのを好みません。村の敎育ばかりでなく訴訟事や冠婚葬祭一切の相談事を司つて居つて、人々は心から信賴して居ります。學校には三十ばかりの生徒が來て、中には子供を負つて稽古して居るのも見かけました。この先生一人で敎へて居りますが先生は三十の生徒を完全に敎へるには、廿六級を作らなければならないと云はれて居りましたが、實に個々の心に入つてよく導いて居ら

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れます。

□面白い學校

先づ學校の下駄箱には、『足下注意――足の下から鳥がたつ、油斷大敵（ハキモノハタイセツニスルモノデス）』と書いてあります。次の部屋に圍爐裡が切つてあつて、其處には『火の用心――火は尊い溫熱で食物を煮、不用のものを燃やし、光明となる。しかし不正直で油斷したり不注意不親切な事をすると、火事を起す。實に火は正直なものだ』と記してあるかと思へば、筧の水の上には『生命の泉――神の惠の御懷より溢れ出づる生命の淸水、汲めども盡きず、物を淸め、心を淸め、養ひ進む限りなく』と、書いてあります。かうして食器戸棚にも、便所にもそれ〴〵敎訓が記してあるのを面白いと思ひました。

□その生活の一端

溫泉の湯槽に一春をそき十戸の村に聖者います』と記してありましたが、心ある人が來てこの先生を感嘆したと見えます。村人の圍爐裡には白樺の薪や炭が燃かれるので、甘いよい臭ひがします。山に入る人は寫眞にあるやうにもんぺいを穿き腰に鉈を下げて居ります。道のない處を通れば、一々木に鉈で傷をつけて過ぎ、木がなければ、石を積んで行きます。一度でも人が通れば、これが道になるのです。其の常食は米二分の稗飯で、菜は木の芽や大根等で、魚はいわなといふ川魚か、たまに鰯の干したの位を食べます。然し人々の體格は無駄のない、發達をして、筋肉が解剖的に付いて居り、氣風はどつしりと厚味があります。

□正直は不文律

この地の兎は、木の芽を食べて害をするといふので、奬勵して罠で取らせて居ます。道を行くと二匹も三匹も、兎の罠にかゝつて居るのを見ますが、人のかけたものは取らうともしません。雪沓なども脫ぎ捨てゝ置いても、決してなくなりません。人の物は決して冒かさない不文律のある平和な村です。

□歸路のアルプス越え

歸路はアルプスを越えて、信州に出て來ました。道のない雪の上を、雪沓を穿き、鳶口を持つて辿つて來ました。一間行くと、もう下は見えない位の險阻な處で、後ろをふりかへると、眼が回ります。處々に苔桃と云つて雷鳥の好んで食べるといふ赤い實が、去年根こそぎにされた儘、雪に埋つて居て、腐らずに居るのを見付け、渴する儘に腹這ひになつてこの實を食べましたが、酸い味がして、口を潤すには、誠によいものでした。

□柔和な馬

やう〳〵下つて白骨に行く麓に當る鶴の茶屋といふ處に來ますと、溪流があつて其處に小さい橋が架つて居りました。不思議にも橋には横木で柵が出來て居て、渡れません。と見ると『午（この字が書いてあつた）がゐるからだ』と、記してありました。成る程この邊の林間は馬の放し飼ひがしてあるのだと分ります。と、向ふからぽか〳〵〳〵と足音が聞えて來ました。やがて柔和な目をあげて、人なつこく馬が近寄つて來ましたが、またぽか〳〵と行き過ぎてしまひました。無邪氣なその顏は忘られません。案内者は渴いたと云つて熊笹の葉をとつて、一寸丸めて猪口を作り、溪流の水を汲んで自分も飮み、私にも飮ませましたが、旨味しい事は炭酸水をのむやうでした。

* * * * * *

私は用務の片付くと共に、再び登山して、今度は全く人の居ない處に天幕生活をして、しみ〳〵と高山の風物を味つて見たいと思つて居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と產（中）

姙娠の初期まで

醫學博士　木下正中

□姙娠の期間

姙娠の期間は人により、人種によつて差異があるが、通常最後に月經のあつた初日から四十週間と豫想し、これを十に分つて四週を一ヶ月として、十ヶ月間とする、この數へ方は、太陽曆でも太陰曆でもないので、姙娠月と特に呼んで居る。今日迄姙娠の最短期間は二百六十日であり、最長期間は二百八十日であり、平均二百七十五六日であるといふが、日本で私の統計をとつた處によると、最短二百六十日、最長三百十二日で、平均二百八十三日位になる。嘗て橋爪醫學士が、大學で多數の姙婦に就て調らべた處によると、最短二百七十日、最長二百九十日で、平均二百八十五日に當る我が國の法律では二百六十日乃至三百日を姙娠期と見て居る。

□姙娠の徴候

次に姙娠の徴候は何によつて見分けるか。普通姙娠と同時に月經閉止や、食慾不進、嘔吐を催す所謂惡阻や、俗に酸い物好みといふ嗜好の變化――これは酸い物に限つた事はなく、中には辛いもの、甘いもの、壁土や木炭を好んだり、常に好きな物が嫌ひになり、嫌ひな物が好きになるなどの變化がある。――其の他乳暈とて、乳の黑くなる事や、生唾の出る事などがあるが、然し醫師はこれ等の徴候のみを見て姙娠と斷定する事は出來ない。如何となれば、月經閉止は、授乳期間や他の病氣にもある事である。即ち熱病、チブス、肺炎の快復期、結核の病氣貧血、婦人科的の病氣或は肥滿した人等は、何れも月經が閉止する。嗜好の變化に至つては、婦人のみでなく、男子も胃腸病や神經衰弱の節起る症狀である生唾も神經衰弱の男子などは盛んに出るものである。乳暈も亦姙娠のみならず、他の病氣の月經閉止に伴ひ、單獨にも內分泌腺の故障や甲狀腺の腫れにも現はれ、生來色素の沈着の强い人等は、いつも黑いので、平生を知らない醫師の眼には、特別の徴候か否かを斷定する事は出來ない。醫師はその中の重なるもの、變化や生殖器に起つて來る變化などを綜合して、なほ兩三度の診察を重ねて、略姙娠であらうかと云ふが、實は四五ヶ月に進んで來て、初めて姙娠といふ確信がつくのである。その他想像姙娠と言ふものがある。これは重に肥滿した人にある事で、子供を欲しい〳〵と思つて居ると、月經が閉止し、腹壁が大きくなり、同時に惡阻のやうな徴候があらはれて來る。甚だしきは臨月に及んで實家に歸つたが、それは妄像であつたのが解り、夫への申譯に子供を貰つて歸つた等の例がある。

□產の可能の期間

なほ產は何歲から何歲位迄可能であるかと云ふに、十五六歲から四十五六歲迄、殆ど月經の初まつて全くなる迄と通常思はれて居る。然し月經がなくても姙娠はする。また或る者は十一歲で初經あり、十二歲で姙娠して女兒を生み、その女兒がまた十二歲で子供を生んだので、廿四歲でおばあさんになつた例などもある。老年では五十五歲で最終の產をしたといふのや、六十二歲で三ヶ月の流產をしたのや、十二年間月經の閉止して居つた六十一歲の婦人が出產したのなどもある。其の他十六歲で初經があつて、十八歲で初產を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し、引續き三十六歳迄月經閉止して十七回の產をして十九人を生んだ――三回双子であつた――この婦人はその他に三ヶ月の流產をした。初生兒にはどれも授乳したが、三十九歳の折、僅かに八日間月經があつたのみで其の後は閉止して終つたといふのなどもある。

□不姙の認定

右のやうな異例はあるが、通常は四十五歳で產をする者は稀れであり、五十歳では殆どない。然し月經がないから、姙娠しないかと云ふと、さうではない。月經と、卵の排出とは各々獨立したものである。時々月經の無い者、また少い者は、不姙ではないかとの問ひを受けるが、それ丈けでは、不姙と認定する事は出來ない。日本では昔から「子なき女は去る」といふ道德上の法律が出來て居るので、婦人科の醫師は屢々この迷惑な裁判官を仰せつかる。不姙は生殖器の發育不完全や、病的變化の爲、生殖器をとつて終つた場合など確認は出來るが、其の他の場合には、出來難たいが、姙娠するには妨げなからうと云ふより外ない。また双方健全たが結婚後二十年三十年になつて子供が無いのはもう出來ないだらうか等と問はれるが、これも認定は下されない。或る者は三十二年間結婚生活をして、四十二歳になつて初めて產をした。しかもこの婦人は狹窄骨盤を持つた人であるにも拘らず、無事に生れた。かくの如く姙娠出產の事は人力を以て判斷する事は出來ないので、もし姙娠不能の時は、其の原因を除くことに力を盡すより外に道はない。近來は、夫妻共に健全で、子供のない場合には人工姙娠を試みるといふが日本では素人の試みたのを聞いたのみで、確かな結果は語れない。かやうな方法は、醫師の指導により、科學的に試みた結果でなければ確信は出來ない。

□惡阻の攝生

姙娠初期の攝生法はどうしたらよいかと云ふに、もし惡阻が劇しくて、吐氣が盛んに起り・體重が減ずる場合等は、必ず醫師に相談しなければならぬ。惡阻の危篤に陷つたものを、豫病といふが、それは豫病ではなく惡阻の重いものに外ならぬ。かやうな劇しい症狀を起さぬやうにするには、先づ胃腸を建全に保つやう、便通を調査することが大切である。便通は人體に大關係あるもので、便秘も下痢も共に早く手當てして治さねばならない。便秘は下劑をかけた斗りでは駄目である、下劑をかけても藥の分量を漸次減らして、自然に便通のある習慣をつけなければならぬ。婦人に便秘の多いのは、便を催した時、便所に行かずに我慢する事の多いのや坐り仕事が多くて、運動のつかない爲めであるから、これ等の支障を取除いて、常に便の淨滑を圖らねばならない。胃腸が丈夫であり、その他に病氣がなければ、姙娠は病氣ではなく、生理的變化であるから、惡阻等に餘り惱まずに濟む。

六

□流產の事

姙娠の間の中絕する事を、俗に流產といふ。流產の原因はさま〳〵あるが、何か異狀があつて起つたに違ひないのであるから、出たものを凡て產婆か醫師の驗査に供せらるゝ事が大切である。これは往々不注意で、調らべぬ先きに捨てゝ終ふ者があるが、出たものが不完全なら、なほ殘部を取除かねば、後の經過が非常に違ふのである。もし出たものが捨てられてあれば、餘儀なく胎內を調らべなければならぬが、我々の方針としては成るべく身體は必要のない處に觸らないやうにしたいのである。流產、早產、胎兒死亡等は時に習慣性となる事がある。これ等の姙娠中絕は血液を驗査すると・八割迄は其の變化を見、しかも黴毒の結果なる事が多い。それ故黴毒の有無を一度ならず

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二度三度調らべて、もし毒でなければ、他の原因を調らべて、それを除くことに務めなければならない。然しこれ等の原因が除かれても、必ずしも流産が止まるものではなくて、私の知つて居る婦人の如きは、毒は全然ないが、どうしても無効で、習慣性流産のとれなかつた人があつた。

□人工流産

醫術上人工流産といふのがあつて、病氣の經過上行ふ事があるが、それは極めて少い。肺結核等の場合、母體の病勢の進む事を恐れて、人工流産を望む人があるが、姙娠必ずしも肺結核を重らせるものではなくて、時によつては、母體の病狀も、この爲め却つてよくなる事あり生兒も强壯な立派な子が生れる事がある。私は屢々敎育あり、地位ある人々が、母體の病氣を氣遣ひ、或は多産の爲母體の疲勞を心配して、人工流産を依賴する人に遇つて、實に憤慨し、嘆息せざるを得ないのである。腹の中に在る子は、目に見えないから、どうでもいゝと思ふのであらうが、苟も人間の生命一つを絕つ事は、決して容易な事ではない。自殺さへ議論のあるものを、況して針の先き程のものでも、一つの生命を犧牲にして母命を助けることなどは、醫師の技術からは、全然取除きたいものである。殊に人工流産はまだ熟さぬ中に胎盤から無理に離す不自然の事を行ふので危險も多く、下の方からさま〳〵の細工をしなければならないので病毒の傳染する機會も多い。かういふ人工流産をしなければならない事情なら、寧ろ姙娠を初めから避ける方がよいのである

□子宮外の姙娠

近頃よく聞く事で、子宮外の姙娠といふのがあるが、これは胎兒が子宮外に發育するものである。

元來卵は喇叭管を通つて、子宮に入るものであるが、姙娠は大抵排卵されて喇叭管に入らうとする處で行はれ、發育するに從つて、喇叭管を通つて子宮に落着くものである。然るにもしその通路に障害があると、子宮に來らずに發育し少し大きくなると遂に腹腔とすれちがつて破裂する、其の時比較的大きい血管が破れるので、非常に痛みを覺えて倒れ、貧血の症狀が加はる。然しこれは早い時期に處置をすれば生命の危險は取止める事が出來る。以前は診斷がつきにくかつたのであるが、今日は大抵早く診斷がついて、手術的の處置をとる事が出來る。

アルプス山中の
平湯小村にて

青年勞働の歌

柳氏談の中にある
小學校先生作歌

（春）

春は春は櫻咲く若葉山
ヤツコラセ〳〵
薪木代る腕に
花が散る〳〵

（夏）

夏は夏は風かほる深緑
ヤツコラセ〳〵
分ける小蔭に
白露が散る〳〵

（秋）

秋は秋は黄金沸く田に畑に
ヤツコラセ〳〵
鎌振る腕に
明月が映す〳〵

（冬）

冬は冬は果てしなき銀世界
ヤツコラセ〳〵
踏み分ける樏に
白雪が積む〳〵

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新設された贊育會の事業

細民の女房の助產と乳兒を預る爲めと

回本所區太平町一丁目廿七番地江東の巷に立てる警察署のほとりに、四月十五日から新しくある事業が開始された。貧に惱める人々のために、――生まれ來る尊き命のために――。

生きとし生ける者の、自らの生を健かに完ふせんと希ふのは人情の當然である、不幸なる白痴や低能兒の教育をする前に先づ據つて來る原因を根絶しなければならない。孤兒を援けんとする前に、先づ母の死を救はねばならない。斯う叫んだ識者の同情は溢れて、こゝに事業は開始された。貧にして安らかに產の紐を解き得ぬ人々のために無料にして產をせしめる。姙婦の診察、助產、其の他分娩に必要なる器具材料の供給をしやうといふのが、此の事業の內容である。會の名は贊育會、理事長は濱町病院長醫學博士木下正中氏である。

回太平町の贊育會相談所はまだほんの借家住居である。三十五疊の板の間は、保育所の子供遊戯室に成つて居る。保育所は三歳以下の乳兒を無料で預るといふ趣意で設けられたので、まだ赤ン坊が二人しか見えて居ないが、これから追々ふえるであらう。乳兒相談部もあつて、相談によつては營養品の供給をもする。手馴れた看護婦と產婆とが出張して居て、專ら親切にその任に當る。

回さて斯うした贊育會の厄介に成り得る貧民は、一體どの程度であらう、又やたらに醫の仁術を施したならば、定めし土地のお醫者樣から、職業妨害のそしりを被らねばならない。ところで土地の警察署長川村貞四郎氏は熱心なる細民の身方である。細民材料に豐富な氏の指定に依つて、しか認められたる者に限り、贊育會は保護をする事に定めてある。毎週月水土の夜六時から七時まで、椿、石川の兩醫學士交々診療に從事するといふ

回此事業の開始さるゝや、聽診器と藥壜と、桃が割れて桃太郎が出て來る簡單な圖を書いた上へ、かたかなで『サンバ イシヤニ カヽレヌ ヒト ノタメヲンナ コドモ タヽデ シンサツスル』など說明を添へた紙片を細民へくばつた。けれども彼等の中にはそれすら讀めぬ者があつて讀んでくれといふ有樣衞生智識の普及を叫ぶは遠しである。子供を斜めに背負つて荷車の後押しをしたり、『よいとまけ』に出掛ける女房等のお產は割合に輕い。日頃勞働訓練で身體がきたへられてある。まして背中の乳兒を預つて貰つたら彼等の勞働には多大の助力となる。

回そぼ降る雨をおかして、贊育會事務所である本郷通りの大學青年會內に理事河田醫學士を訪ふた。どんな仕事でも新しいものを生まうとするには、思ひ知られぬ煩雜さと時と金との要るものである。贊育會は日本に始めて設けられた新しい試みである。忙しい事務の手を休めて氏は徐ろに語つた。

『醫者として立つ私共は、早くから、斯ういふ事業の必要である事は心づいて居りました。借屋住居ながらも、今度いよいよ實現されて、第一歩を活社會の中へ踏み出づるに至つたので皆樣の温い御同情に對し感謝して居ります。始まりは場所の選定に苦しみました。かなり貧民窟として永く聞き傳へられて

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある萬年町は、近頃だいぶらくに成つて來た様なので、本所に定められたのです。今年一杯にはどうにかして、豫定の一萬圓の金を集めて、あの附近に適當な建築をしたいと努力して居ります。會員と成つて下さる方は一年に一口二圓の御寄附を願つて居ります。其他篤志の方にも願つて早く實現したいものです今迄研究材料として産婦を取扱つた事は數々ありますが、かうした意味で盡力して居るのは、まだ例の無い事です。なほ私共がしたいと思つて居る事は、産婦の留守宅へ相當な人を遣つて家事の手傳ひをもさせたいと思つて居ります。折角入院させても手が無いから是非歸してくれとは、今迄にもよく聞いた例ですから……」とまだ若い氏は熱心に親切に語るのであつた。眞乎に自分自身のもの丶様に……。

回ピアノの練習の音が、忙しい仕事をそゝる進行曲の様にひゞいて來る。何かよい仕事をしやうと、若い心に鞭つ青年會の中の人々の耳へ……。（佳子）

悲觀すべき
佛國の人口
獨逸娘の日記發表

内閣統計官　横山雅男

▲今回の歐洲大戰は何時如何なる形式の下に平和が克復するかは、今から豫想し難い處であるが、戰後各交戰國が、國家の創痍を癒やす爲めに、猛烈に經濟戰を開始するは、今から燎らかに睹る事が出來る。而して經濟戰に亞いで、否な寧ろ經濟戰よりも重要な問題となるのは、人口政策であると察せられる。

▲近く歐信に依れば、交戰國では既に人口政策の研究に腐心して居るが、殊に最近獨逸娘の日記なるものが、米國に於て發表せられた所に依れば、苟も出生能率ある獨身女子に對しては、届出を嚴命し、之れに官選婿を押付けるとの一事がある。是れは固より極端な例であるが、交戰國が人口政策に如何に腐心しつゝあるかの一斑を窺ふに足るのである。

▲世界文明國の統計に依れば、近年孰れの國に於ても、出生率が減退して居る中にも、佛國の如きは實に顯著である。同國に於ては啻に出生率の減退のみならず、千九百七年、千九百十一年の如きは、出生より死亡が多かつた。統計上から佛獨二國を對比するに相互に一長一短あつて、一概に評下し難い點もあるが、佛の獨に對して人口の貧弱なのは、慥かに佛の劣れる最も著しい現象である。今佛國に於ける出生率の減退した原因と認むべきものを擧げれば、次のやうである。

▲一、政治上の恐慌、二、革命及戰爭の頻發、三、重税の過重四、兵役義務の増加、五、人種元氣の衰耗、六、遺産相續法、七、田舍婦人の都會集住、八、賣淫の増加、九、産兒の豫防、一〇、流産の増加、一一、墮胎の流行、一二、驕奢の増進、一三、極端の節儉、一四、享樂主義の旺盛、一五、酒精の濫飲、一六、徳操の滅亡、一七、舊教の衰微、一八、淫靡文學の流行一九、家庭秘密の罪惡等である

▲我が帝國の出生率は、歐米諸國に超越して居るとは、從來の統計に據つて唱へらるゝ所であるが、現時我が邦の統計は一大基礎たるべき靜態人口が、Census即ち國勢調査に依つて調査せられないので、充分信用し難い。故に現時の不完全な人口統計に依つて、歐米諸國に超越せりと欣ぶは、餘り取らない所である。余は未だ陰雨せざるに牖戸を綢繆すとの金言に鑒みて、益々我が帝國の人口を從上より研究して、國家の發展に資せなければならぬと考へる。若夫れ一たび佛國の如き悲況に陷らんか、遂に國家の進歩發展を望むべからざるは識者の齊しく認むる所である。

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の讀書

長谷川喜多子女史（一）

此夏はダンテの神曲を味ひたい

▲『學期が改まる、なほし物が溜る、と云つた樣な調子で、近頃何にも讀みは致しません…古るいものゝ印象ですつて…それもちよつと困りましたね。とにかく讀む方は何でも手當り次第好きなのです』

快活にかう云ひ切つて、笑ひの面を記者の方へ向けた。ふさ〲と今洗つた許りの樣な前髮のきれいさ、緣無しの目鏡の底には、柔和な切れの長い眼がほゝゑんで居た。

▲香蘭女學校敎頭長谷川喜多子女史は、極めて英語に巧みで、嘗て文部省の英語の檢定に滿點を以ていの一番で合格された方である。應接間のまひる頃、ベルとベルとの間の短かい時間を惜しみつゝ、今敎室の扉から出られた女史と、相對座する。どこまでもきび〱と英國式の齒切れのよい方である。

『幼い頃から讀む事が好きでして、若い頃――さうですね、廿年前頃迄は、一週間に一冊の本はきつと讀み上げたものでした。尤も、私は英語の物しか讀めませんが、年齡に依つて讀物に對する嗜好も違つて來ますね。十八九時分はよくセンチメンタルなものや、ローマンチツクなものを好きでしたが、卅歲位になると、もうそれが馬鹿らしくなりました。又病氣の時には妙に想像的な感情に走るものよりも、私はどちらかと申せば固いものを好んで讀みます。固いものと申しましても、さうむづかしい形式の物ではなく、傳記物とか面白い紀行文なんか宜しうございますね。』

▲渴いたものが水を欲するやうに、讀書欲にそゝらるゝ女史のお談には、自ら引入れられてしまふ。人無き窓に、新しい紙の香をかぎながら、しづかに頁を探つて、貪る樣に讀みつゞける女史の姿が目にも見える。

▲『日本にも色々の方面に新しい作者が出ますこと、それに此頃では戰爭物にも身の入つたものがあります。私は此の夏にでも讀んで見たいといふよりは、寧ろ研究し味つてみたいと思ふものでは、ダンテの神曲です。只今のところでは、雜務に追はれて居て、讀み且つ味ふための時間が許しませんのです。』

▲扉の外には生徒の行き過ぎる騷がしい聲が間斷なく續く、ほんとにお忙しさうなので早速においとまをして外へ出る。『今日のディクテーションは一體らくなのかむづかしいのか、評が分らないのね！』前後する生徒の群の中には、こんな會話が交はされて居た。

アルプス山中
平湯の小村にての

婦人會歌

柳此談の中にある
小學校先生の作歌

一、私や寳の山里育ち
胸にや人情の血が燃える　（愛　情）

二、峯の松さへ變へない操
命かけても變へらりよか　（貞　操）

三、稻の穗さへも實れば下る
女ゆかしやしとやかに　（温　雅）

四、春の風吹きや野山も笑ふ
愛敬うれしや懷しや　（愛　敬）

五、蟻でさへする勤儉貯蓄
女みやうがに稼ぎたや　（勤　儉）

六、水は刹の下さへくゞる
無理な辛抱もいとやせぬ　（忍　耐）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

椽側に日向ぼこして

斬雲

□日本式椽側趣味

日當りの好い椽側から、庭下駄を穿いて下りる氣持は日本式の建築の第一の風情です。私共が西洋室へ入ると、大變窮屈な思ひがして、氣が塞ぎ、面白い話の緒口もほぐれません。そして西洋室には壁が多くあるから、さつぱりした快活な氣分がありません。雨降りの日か、冬季には、西洋建築の方が要害堅固で心強い氣もしますが、冬季以外は日本建築の方が確かに氣持が好いのです。椽側の日向ぼこりといふのが、私共に取つて傳統的な最も清新な樂みの一つです。公園へ入つても、日比谷式のベンチは殺風景で、上野式の赤毛布を掛けた臺の方が落着きのある氣分になれます。

私は外國の寫眞や繪はがきを見る時十階十二階の四角い建築に塡められた市街の風景を見ると胸が塞がります。眞四角な大きい箱を並べた市街は、文明といふ牢獄の表象です。

□社會的制服

軍隊に制服あるが如く、社會的制服を要する時代となつたのです。體裁が惡くなく、失儀に亘らざる範圍内で、必要を滿すに足る最低價の物を基準とし夫れが何處へでも通用する事になると好いのです。縮緬の襦袢を着る事は馬鹿氣た事ですが、日本人は馬鹿贅澤を盡くす事を第一の誇りとするのです。何等人生に對する理解もなく信念もなく、社會的經濟觀念もなく、贅を盡くす事を一番えらい事、將た人生第一の希望とするに至つて、其の心の貧しい事夥だしいものです。同胞が如何に困苦するも、自分一人贅を盡くし、私慾を滿たせば足るといふ事は無識の極です。無學は厭はないが、此の如き無識は社會の破滅を招きます。之は金の奴隷たる成金根性です。

□婦人の内職推獎

何かの雜誌に博士が、婦人の内職を獎じて『女房を養ひ得ない男があるか』と言つた大氣焔を吐いてありましたが、博士成金といふ無識者もある世の中です。此博士の言を信じたいが、扨て社會の實情は之を信ずる事を許さないのです。誰れでもが博士になれ、誰れでもが二百圓近い收入を得られる樣な社會を造り得ない以上、こんな氣焔は仁人や爲政家の口にすべからざる事で、唯だ利己主義な冷淡者の放言です。洋服を着た紳士面した日本人の多數は四五十圓の收入程度です、之れで女房がぶら〳〵遊んで居て好いものか、自然に立返つて物の道理を考へて見たら解る事です。私は婦人も出來る丈け職業を有つて正當な收入を得る事をお勸めします。今後二十年も經つたら、職業と收入とを有せぬ婦人は、社會の除け者にされるでせう。今後は永久に經濟上の惡闘時代になるのです。だが婦人は男子の樣に外へ出で職業を得る事は事情甚だ困難であるから内職を有する事を望むのです。内職とは内證のといふ意味でなく、我が家の内で出來る事をいふのです。内證の内職などは卑屈の沙汰で、新時代の婦人のする事ではありません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

商人の德義

次代の爲に住み心地よい社會を作れ

男爵夫人　目賀田逸子

▲先日下駄の齒入れをしやうと思つて、近所の下駄屋に頼んで置くと、忘れた頃になつてもまだ持つて來ません。電話で催促して、「今夕迄出來なければよろしい」と申すと「それではお返し申します」と遲れた落度を詫もせずに平氣で云ふのです。私の方では早速使を出して取りにやると、奥からおかみさんが出て來て、店の者の不行屆を詫び今晩迄に必ずお屆けするから、置いて行つてくれと申して、渡さなかつたさうです。晩迄には來るかと思ひの外、翌朝やうやう小僧が風呂敷に入れて、ぶらぶらと持て來た仕末なのです。

▲この節は物價騰貴の聲と共に何んでも物の値段は上がるのみであるが、商人の態度は「高くていやなら勝手にせ」といふ至極不勉强の傾きになつて來ました少し奥樣が注意して、品物を撰んだり、日限を嚴しくすると、「あすこの奥さんは吝嗇だ」など、直きに評定するので、その批評を聞くのがいやさに、商人の云ふなりになつて居るため、商業道德などは一向に進歩しません。もう三十年の昔になりますが、當時横濱の商業會議所長をして居られたリンズレー氏の夫人が、嘗て私にかう話された事があります。「私は洗濯屋がボタン一つ失くして來ても、その代價を見積つて、辨償させますボタンの代位洗濯屋から取るなどゝ云へば、吝嗇のやうに聞えますが、それは先方のためになりませんから」と。

▲このリンズレー夫人は實際商人の爲めを思つて、辨償もさせれば、小言も云はれた事は、その日常の慈悲深い行ひを見ても分ります。夫人は私共と共に市の慈善會に働かれましたが、用意周到な方法で、細民救助をされますのはいつも感服の外ありませんでした。いつか根岸の一漁夫が、艪を火事で燒いた爲めに、漁に出る事が出來ないで、一家が路頭に迷ふと云ふ事を聞くと、早速人を派して、其の實否を探ね、これが事實と見るとすぐ五六圓する艪を買ひ調へ、漁師を呼んで親切な言葉を添へて送りましたので、その漁師は涙を出して喜び、再び稼業に勵みました。日常の生活もたゞ自分ばかりの安全を願つて、事勿れ主義に通つて行かないで、周圍の者が、少しでも進んで行くやうに骨を折る事は、次代の人々に「住み心地よい社會」といふ遺產を殘す事になりませう。

十二

お化粧問答

問　齲齒が多いために、何時も齒醫士の御厄介にばかりなつて居りますが、直らないで困つて居ります。（本郷　綠子）

答　齒が餘程お惡いのでせうと存じますが、平生の御手當を御注意なされば餘程齲齒は防ぐ事が出來ます。夫れにはなるべく鼻で呼吸される習慣を附けられ口中へ黴菌の侵入を防ぎ、尚御食後には一度微温湯で含嗽をなさいまして、齒間に汚物の挾まらぬ御注意が肝要でございます。朝は齒磨中で齒の爲めに一番よいクラブ齒磨をお使ひになるは勿論三度の食事後就寢前には微温湯にクラブ水齒磨の二三滴を入れて口を嗽ぎ、齒の大敵たる酸の發生を防ぎ、齒と口中の清潔を期せられる事が大切でございます。苟も衞生に御注意なされる御家庭では勿論クラブ齒磨の御愛用が盛でございますが、學理上、實驗と化學的に齒を强く美しくするのみならず、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初夏の料理

奇麗で手輕なもの

松宮信子

□引肉料理　これは一人前七八錢で出來る極く體裁のよい料理です。豚の引肉にすれば、五六錢でも出來ます。先づ五人分として引肉半斤とパン一切、玉葱一つ、鹽小匕一杯、胡椒小匕八分の一、玉子一個を用意します。

先づ引肉の中に玉葱を刻んで入れ、パンを水につけて固く絞つたものを粉にして加へ、その中に玉子一個を割り込み、手で捏れ合せ、鹽と胡椒で味をつけ、人數の分量に分けて、小判形に平たく形を作り、兩面にメリケン粉をふりかけ、その片面に縱横斜にナイフで筋目を入れて牛脂かバタをフライ鍋に溶かして、筋目を入れた方を先きに燒きます。四五度裏返して後皿にとり、それにポデレースソースをかけて出します。

ポデレースソース　は牛脂少々、玉葱一、トマトソース五勺、メリケン粉中匕二杯、湯五勺、鹽、胡椒少々

初めたフライ鍋に牛脂かバタを溶かし、玉葱を微塵に切つて入れて狐色にいためて、メリケン粉を加へていりつけ、トマトソースと湯とをつぎ入れて、ごろ〳〵のものをつくり、鹽、胡椒で味をつけて、肉の上にかけて出します。このソースは凡て肉にうつりがよいのです。

附合アスパラガスのクリームかけ　アスパラガス一斤とホワイトソースを用意します。アスパラガスは日本の獨活と同樣のもので、風味が一層高尚のものです。これは三寸位に作り、水に十五分間漬け、バラ〳〵にならぬやう、糸でしばつて熱湯に入れ三十分間茹でます。ホワイトソースは根から一寸五分ばかり迄かけます。その上は軟かくないので食べません。アスパラガスをそつくり食べると丁度日本の生姜の軸をかじるやうな大恥をかきます。

ホワイトソース　はバタ中匕二杯、メリケン粉中匕二杯、牛乳一合、鹽小匕半杯、胡椒小匕八分の一を用意し、先づバタをフライ鍋に溶かし、メリケン粉を入れて、焦がさぬやうに手早く交ぜ、牛乳を入れて溶かし、鹽と胡椒で味をつけます。バタとメリケン粉をこがすと、眞白に上りません。

□いちごの食後菓子　これはストロベリーブラマンジエーと云つて奇麗で旨味しい食後菓子です。五人分としていちご二合、牛乳一合五勺、ゼラチン二枚、砂糖一合、玉子白味二個を用意します。

先づ覆盆子の蔕を取つて、水洗ひしてつゆを切つて置き、丼に入れて上から砂糖を一合の三分の二程かけて、ホークでつぶして置きます。その儘二三十分置くと赤い奇麗な艶が出ます。次にゼラチンを水に冷やして、牛乳を鍋に入れ、砂糖を一合の三分の一加へ、沸騰せてゼラチンをその中に入れ、中火でよく焦げぬやうかき廻し乍ら溶かします。溶けたら火から下し、その鍋ごと水に冷やして置きます。別に玉子の白味をよく泡立て、ゼラテンが半ば固りかけた處に入れ、白味をまぜ合せ、グラスの器に盛ります。各自のでもよく、大きな器に入れて、盛り分けてもよいのです。盛り方に下に覆盆子を一合入りならば一寸位入れ、外に生のいちごを輪切りにして、飾りに外側に向けてはりつけ、ナイフでゼラチンをはりつけたいちごの落ちぬやう先づ周りにつけて、次に眞中に入れ、七分目位にして、上に絞り出しで適宜な飾りをつけ、處々に生のいちごを飾ります。

絞り出し　は厚い西洋紙を喇叭のやうに卷き、細い部分の先きを切り、上からゼラチンを入れるのです。

防腐、消炎、殺菌の力を具へるものとして陸海軍及び帝國大學並に各醫藥專門學校でも理想の齒磨として推奬されて居ります

問　私はお化粧致しましても目がうるんだ樣になり泣いた樣な目になって汚なく見えますが。（淡路　一二三）

答　一體にお顔の淋し氣に見える方は晴れやかなお化粧をなさる必要があります。夫かと申して彼の女優式のケバ〳〵しいお化粧は最早廢れて矢張純日本固有のお化粧法に幾分外國の美點を加味したクラブの淑女式お化粧法が相變ず、全盛を極めて居ります。淋しい目のうるんだ方はクラブ白粉でお化粧が一通り濟ましたら一應目の下を濡手拭で拭取り、お顔にホンノリ櫻色の健康色を現すクラブ頰紅を目の縁から兩頰へかけて塗りますと晴れ晴れとした美しいお顔になります。尚ほ目の出た方は目の上に白粉を薄くし、目の凹んだ方は目の上を濃く致しますとよく見えます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の望む實際教育

熊本　秋子

▲この間御紙御掲載の「數の觀念をこうして養つた」といふ鈴木まさ子さんの御經驗は私共教育者にとりまして大變興味深く拜見いたしました。それは私が常に考へてゐた、「實際教育」―と申すと何だか大變偉そうですけれど、―つまり只今の形式教育に對する私の反感から生じた考へと一致して、共鳴する所が多うございました。私にはどうしても只今の學校教育がうなづけぬのでございます。先づやつと小學に入學した子供を捕まへて、いくら知識欲が盛んであるとは云へ、教材を抽象的に教へることは、少なからぬ困難、否困難とまでは行かぬとも興味は、非常に殺がれてゐることだと思ひます。私はこんな小さい時にどうして活動の靜止と、かなりの苦しい努力とを我慢してする必要があるだらうかと考へます。

▲教育は教室でのみ行はれるものぢやないといふ事は誰れでも知つてゐる事ですのにやつぱりこうした結果になる樣な事をしてゐる學校教育を、或意味から非常に無意味な、且つ不徹底のものだと思ひます。(勿論長所は多いのですが)お說のやうに、子供に適當な興味のある仕事なら(子供は作業を喜ぶもの故)遊戯をしてゐる中に、いくらも、知る必要を生じ、且つ非常に興味をもつてそれを知らうとする、機會がころがつてゐると思ひます。そりや、よい機會を捕へ害つたり、又それに突き當らせるに指導が惡かつたりすればこうした教育法はまるで空論になつてしまひますが、若し非常にうまく、熱心にやることが出來たら、實に偉大なものと思ひます。

▲たとへば農村の教育にした處で、形のやうな教育を受けさせて、半生意氣な小學乃至は中等學校の卒業生を作るよりも、寧ろ普通の農民には、(進んで勉強するものはさて措いても)確りした眞面目な、低くても根底の確かな、實際教育を施し度いと思ひます。子供にはその親達のする樣な作業は出來ぬに定つてゐますが、その中の容易な最も子供に適した、しかも喜こんで仕度がる仕事、(即ち石ころや土塊の拾ひ方、植物に水をやる仕方から、養鷄、草取等)をさせつゝ遊ばせます。その間に簡單な數の觀念は申すに及ばす、いろんな、小學校で學ぶ教科の數々を、生きた教材によつて、生かして學ぶ機會があり、自然に對する興味も漸次覺えてくるやうになり、自分が少しでも、力を加へた、植物が生長し、花になり、實を結び、根が太る、水や餌を與へ、果ては追ひ廻はした鷄が、卵をもち、雛が出來てくる。晴れる日あり、曇る日あり、暖かき日あり、寒き日あり、これ等はみな、彼等の興味となり、生きた豐富な教材となりませう。

▲このやうに何でもない子供の日常生活の中から必要な學科は何程でも見出され、團欒の中にも歷史が教へられ、働く爲めには裁縫の必要が起り、自然と親しむと云ふ事によつて、詩や歌、果ては畫も生じてくるのです。これ等はみな必要に促されての肉迫した問題であつて、机の上で學ぶ對岸の火災的のものではなく、しつかりと根が生へて、彼等に押しつけにしなくても、當然子供の方から自發的に要求するものと思ひます。こうして彼等各々の立場に適當した、最も肉迫した問題として普通學を取り扱つてゆく事が出來たら、後はもう勝手です。彼等の根底は出來てゐるのですから、それ以上のことは彼等の得た力で獨學することが出來るのです。

▲自然と親しみ、且つ實際生活に眼を見据えて、うまく子供を指導する時は、その間に彼等の生活內容の豐富になる事は云はずもがな、又どれだけ精神的倫理的感化も受け得られるかと思ふのです。大なる眞理を認めるに至つては、倫理といふ、むづかしい事は知らぬでも、自らそのなすことは天下の法に適つたものとなるでせう。根底は必要と興味とによつて成立したものですから崩壞の不安に勿論なく、これを基礎として如何なる學問的方面にも進み得ると思ひます。

十四

▲結局、實際教育は教育動機を全然、生徒の方に一任して、教師はそれを單に促すに止まり(絕えず生きた教材の中に活動させて必要を起さしめる樣にする)決して、それに要する時日を惜しんではなりませぬ。只教へ込むといふのが目的でなくて、必要を起させて、生きた生活者とならしむる爲めの教育ですから、彼等の生活に(精神生活も含む)必要と質問を生じてきたものを教へると同時に常にそのいづれの觀念との連絡、關係、統一を、付けさせて、各々孤立したものを作らぬ樣にすることが必要です。やれ國語の、數學のと、面倒な時間割を造つて、のがれやうとしてゐる子供に如何に教授をうまくした處で、眼前に肉迫した問題でないだけに、生徒達の頭に殘り、且つそれが活きて用ゐらるゝ事も少ないでせう。元來、子供の生活の中には、人として團體生活をするといふ限定された運命があるのですから、それに必要な數多の科目は、自ら必要を生じてくるものです。その時にうまく實際を利用して教授するといふのでございます。

▲先づ現在は、こうした實際の形に出ですとも、私共はこゝによく注意して、少しでも只今の教育の缺陷を、補つて行き度いと切に、のぞんでゐます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

まだらな笛吹

（中）

悠　子

さての不思議な様子をした笛吹は、暫くは笛を吹かずに町の中を歩いて居りました。今に笛を吹き出すと、何か大變な事が起るにちがひないやうに見えました。きつと何か魔術がしかけてあるにちがひありません。然しそれを知つてゐるのは、この笛吹一人でした。妙に氣味の惡い笑ひ方をしてやがてブツ／＼／＼と三度吹きました。皆様がたがお聞きになつたら、あつ兵隊さんが來たと云つてかけ出していらつしやるでせう。始はごく低い音で、かすかに聞えるやうでしたが、次第に大きくなつて、虎が唸るやうなひときに變つてゆきました。その内になほ大きくなつて、丁度雷が鳴る時のやうに聞えてきました。

すると不思議なことに、どの家からもどの家からも鼠が轉ぶやうにしてかけ出してきました。大きいのや、小いのや、痩せたのや、太つたのや、黒いねずみ、茶鼠、灰色の鼠、お父さん鼠、お母さん鼠、兄弟ねずみ、姉さんねずみ、妹ねずみなど、町中の鼠は一疋殘らず出てきました。そしてぞろ／＼と笛吹の後についてきました。中には笛に合せてをどりながら歩いてゐるのもゐました。だん／＼來ると笛吹は川のほとりに出ました。淺い川でしたから早速其處を渡らうとしますとねずみも一緒になつて川へ入つてきましたので、可哀さうにみんな溺れて死んでしまひました。

喜んだのは、市の人々です。直に鐘をならすやら、長い竿で鼠の巣をはらうやら、こんな嬉しい事は今までにないといつて喜びました。市長さんはこの事を聞きつけて、早速來てみますと、まだらの笛吹はつかつかと出てきまして、

「お願ひ申しておきました千圓は何處にございますか」と申しました。すると市長さんはしぶい顔して

「千圓と――あゝあれか、あれはほんの戯談だよ、私はお前さんに五百圓あげませう。」

笛吹はそれを聞て暫く下をむいてゐましたが、やがて市長さんにむかつて言ますには、

「お氣をつけなさいませ、私を怒らした人に、も一度この笛を聞かしてやりませう」

すると市長さんは

「お吹きなさいとも、私はお前さんなんか一寸もこわくはないから、その笛がこはれるまで吹くがよい」

と言ひました。そこでまだらの笛吹は、また町の方へ出かけて行きました。そして笛を口にあてゝ又三度吹きました。今度のは雷のやうな音でなく、細いやさしい音色でした。するとこれを聞きつけてたくさんの小供が集つて來ました。

子供の智慧

□電氣のおねんね

靜ちやんはきのふ夕方からお母樣に電氣博覽會へ連れて行つて頂きました。歸りの電車の中で靜ちやんは眠くなつてしまひました。「靜ちやん、ねんねしてはいけません」とお母樣がおつしやいました。けれど靜ちやんの目はとろんとして今にも眠つてしまひそうでした。丁度三宅坂の所へ來ました時、停電で電車の中が眞暗になつてしまひました。すると靜ちやんはフト目を明いて「お母樣電氣がねんねしてしまつたの」と云ひました。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手紙（廿）

渡邊たみ子

「珍らしいでせう、此の花を見出した時、僕はもうすつかり氣に入つちまつたんです。山の上に咲いてた時はもつと小さかつたけれど、肥料などやつた故か此樣に大きな花になりました。それに山では八月に咲いて居たのが今頃開いちまつたのです」

さもいとしげに其の花を眺めながら、種を下ろしてからの栽培の方法など說明して下さいました。

「矢張高山とは氣候から土地からまるで異つてるからでせうねえ」

「それも一つの原因でせう。どうです圓子さん、氣に入りましたか。」

「え丶、私此の匂ひがほんとにい丶と思ひますの。梅、菫、橘、私どれでも好きですけれど、此花のは何だか悲しいやうな香りがして、たまらない程好きになつてしまひましたわ。」

「一年間丹靑してやつと咲かせた花です。僕一時は一寸悲觀したんですよ。折角大切にして持つて歸つた花を、誰にも見せない中に散て仕舞ふ、貴女の御宅ではもう東京に居られず、何だか淋しい樣な氣持でした。でも花の散つたあとに可愛い實の結んであるのを見付けた時は、實に嬉しかつたです。」

「其の種子を少し分けて下さればよかつたのに。」

「種子を？」

貴方は妙なお顏を遊ばして

「僕は種子なんぞを上げやうと思つて苦心したんぢやなかつた。」

其のお言葉は不思議な位鋭い力を持つて胸の奥の琴線に觸れたのです。小さかつた時分私が何か拗ねて貴方が大事にしていらした玩具の軍艦を故意と破壞した時、眼に一ぱい淚を湛へたお顏を見た折の氣持と似たやうな感情がむら〳〵と込み上げて來ました。

「私もう分つてよ、精さん、何卒堪忍して頂戴」理性の指揮をも待たずかうした語が迸しるやうに唇を衝いて出ました。

遠く離れて居ればこそ彩ある雲が往きつ戾りつするかのやうにも思はれて、あらぬ距てもせねばならぬ事になるのですけれど、今かうして二人つ切り相對

十六

して居ると、不思議にも凡てのもや〳〵したものは取り去られて、如實にあらはれた眞の園は、時と性とを超越した淸らかな友情の權化に過ぎないのです。

明白に申しますと、此の時ほど泌々貴方をなつかしい親しいものに思つた事はかつてなかつたのです。最高の友情と云ふものは斯うしたものかと思ふ位、一種の感激が胸に充ちて、ぢつとして立つて居る事が堪へられぬほどで御座いました。

魂と感情と肉體とは、此場合只一つのもので御座いました。貴方を見上げた私の眼には何の曇があつたでせう、私の態度には何の技巧が加へられたでせう。糸一條の理性さへ挾まない私の顏に、不純な影の漂はなかつた事は今でも飽くまで信じて居ります。其の時の私の感情には制へなければならないもの、隱さなければならぬものなどは微塵も交つて居なかつたのですもの。今までは或る壓迫に障げら

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れて思ふがまゝに物さへ云はれなかつた唇は、ほぐれる様に解けて來ました。

「精さん、ほんとに長い間御目にかゝれませんでしたわねえ、六才の時御別れして一昨年まで御目にかゝらなかつた間よりも、此の一年間の方が長い様な氣がしますわ、だけど其代り御手紙下さるもんだから淋しい事はなかつたけれど」

「貴方の手紙はいつでも叙景と叙事ばかりですね」

私はそれを伺うと又濟まない事をした様な氣がしました。

「御免なさいね、私何時もさう思つたのよ、貴方が男の方でなければ、私の思ふ事を何でも書いて上げられるのにつて。」

「男なら何故いけないんです、僕は寧ろ其の反對の意見を持つてるんですがね。尤もそれは此の頃になつてから考へた事だが。」

「どんな御意見なの、よければ伺はして頂戴な。」

「いづれ聞いて戴きたいとは思つてますが。それよりも園子さん・僕いつからか貴女に聞いて見やうと思つて居た事ですが、我々はお互に忘れて仕舞ふ事が出來ると思ひますか。」

「それや出來ませんわ、赤ん坊時代からのお友達ですもの、死んで仕舞はない中はどうしたつて忘れるなんて事は出來ませんわ。眞實の事を云へばね、私いつからか貴方の事を忘れて仕舞はうと思つて努力て見ましたけど、矢張駄目でしたの。忘れない方が結局樂ですわ。」

虛心平氣で、さら〳〵と一息に云ふて仕舞ひました。十も一もないありのまゝの心なのです。

「何故僕を忘れなければならなかつたんです?」

「夢を見たもんですから」

さう云つて私は袂で面を被ひました。上氣た顔を見られるのがいやでたまらなかつたものですから。

そして直に附け加へて

「其の夢の話しをどうか聞かないで下さい。御話したら貴方は屹度御怒りになるわ。そしてもう御友達になつて居られないかも知れませんわ。」

(あさ一回)

新刊紹介

□ひなつばめ(五來素川氏譯)

□昔「まだ見ぬ親」を公にして、讀み物に渇した我が國の少年少女を喜ばした譯者が、更らに數ある佛國の面白い讀物の中から、撰んで譯されたものであります。旅先で産み落され、旅先で親鳥に死なれ、森から森、軒から軒とさまよひ行きて、さう〳〵本巣に歸つて、目出度祖父樣に逢ふことが出來た少女花枝の身の上話を、奇麗な筆で、面白く書かれて居ります。(定價五十錢、東京雜司ヶ谷婦人之友社)

蛋白質に富む
植物ミルクフード
見本袋入拾錢 郵稅二錢
三十回分 五十錢
小包料市內四錢內地八錢
滿、鮮、臺、樺、金廿錢

救命瓶
並製 金參圓
特製 金五圓
學生用一組 金一圓四十錢
送費{內地卅錢。滿、鮮、臺、樺、金五十錢。海外金參圓
婦人週報社代理部取扱
振替東京三一六六〇番

シンガー裁縫院
●和洋服刺繡(東京有樂町一ノ五)
生徒募集
●ミシン專修
●毎月五日迄入學

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□良子女王御教育掛新任　東宮妃殿下に御內定の久邇宮良子女王殿下の御教育掛に就いては、先般來宮內省及久邇宮家にて愼重に銓衡中の處、左の通り御治定相成り、愈十三日月曜日午前九時より御授業御開始になりました。

△修身　東宮御學問所御用掛　杉浦重剛

△修身國語　宮內省御用掛正五位勳六等　後閑菊野

△地理歷史　學習院教授正六位　依田豐

△物理、化學、數學　同上正六位勳六等　鈴木元美

△習字　同上正六位勳六等　小野鋼之助

△漢文　東京女子高等師範學校助教授　竹田道子

△和歌　御歌所寄人正七位勳七等　大口鯛二

△佛語音樂　海軍中將伊東義五郞男次女　伊東淸子

なほ右の外體操御用掛として、學習院教授の三輪もと子女史任命あるやに噂せられて居ります。

◉日支協商の趣旨　留日支那學生が騷いで歸國する者續出した爲め、外務大臣は十三日支那學生を收容する私立學校代表者寺尾博士等に對し、問題の十分なる說明を與へた上、覺書を交付しました。同日外務大臣の言明は同省より發表されました。即ち左の通りです。

日支兩國は現に聯合國側の與國として參戰せり日を追て獨逸勢力の加はりつゝある露國殊に露領亞細亞の形勢に鑑み此の、際爲一に處する爲め日支協同して對敵防衛の計畫を樹つるは蓋し緊要事に屬す而して是れ亦實に日支共存東亞全局保持の根本義に副ふ所以の道なり目下進行中の日支軍事協商は專ら此の趣旨に基けるものにて斷じて此の目的の範圍外に亘る何等の條項をも含むものにあらず事既に戰時中に於ける對敵軍事行動に關するものあるを以て遺憾乍ら其內容は之を公表するを得ずと雖も或る支那新聞乃至支那に於る外字新聞紙等の記事にして前述の趣旨目的以外の事項を列擧せるものは孰も皆虛構捏造にかゝる無根の報也

◉支那留學生の歸國　支那留學生は日支間の交涉問題に付何事か誤解を爲し、屢々集會を催して騷いで居りましたが、其筋の爲に集合を壓迫されたのに憤慨し、大擧して歸國の途に着きつゝあります。

◉講和提議の眞相如何　獨逸は英國に對し講和を提議したとの報は各方面の批評を招きましたが、何れの觀察も之を以て直に講和の成立を見るだらうと云ふ者はありません。第一その條件として提出されたものが殆んど獨逸が頭初からの條件でありまして、本當に講和を欲するならば、もつと〳〵讓歩しなければならぬ筈であります。そこで今回の講和提議は、益々困難に陷りつゝある獨國內の窮狀を語ると共に、之れに依つて平和論者の銳鋒を避けんとする對內國の政策であると見る向が多いのであります。

◉獨逸小長井學士を釋放　獨艇ウオルフ號の爲拿捕されたる常陸丸の一船客として郵船本社より倫敦支店に赴任の途、獨逸に捕虜となりたる小長井潔氏は、今回獨逸國內に於ける自由居住を許されたる旨入電がありました。

◉塊地利の慘狀　塊地利國民は益々生活難に襲はれ、首都ウインナにては餓死する者日に二千に及びつゝあります。獨逸は塊國人を養はんとして不良馬鈴薯を送りましたと傳へられます。

◉出征米兵と母の日　出征米軍司令官パーシング將軍は全米兵に對して「母の日」に當る五月十二日に、各自その故郷に書翰を送らんことを求めました。又米國下院に於ては大統領は「母の日」を以て愛國的犧牲に身を献げつゝある米國婦人の國家的名譽を表彰する日とする布告を發せんことを求めました。

◉米價調節の利用　外國米の公定相場が發表された翌日なる五月八日の期米相場は、果然一圓十一錢方の暴落を來し、更に愈々下向き正米相場も四五十錢安となり、白米小賣相場は十一日より各等六十錢安となり、漸く政府苦心の米價調節の利目が現はれて來ました。

◉東京市內教員の增給　義務教育費國庫補助に依る小學教員增給は、東京市にては月給十六圓取りの新教員には四圓、十八圓から廿圓の者には五圓、廿四圓の者には六圓、廿七圓以上の者には當分給として五圓宛を增給する事になりましたと。

◉警視廳に女の技手　警視廳衞生課中に新設されたる保健衞生係の技手として女醫杏福子（三三）は六日附任命されました。

◉江原奬學基金の募集　貴族院議員江原素六翁は、今年七十七歲の高齡なるにも拘らず、國民教育に心血を注ぎつゝありますが、今回大隈侯以下各方面の名士二百十二名發起人となり、翁に對する祝賀と頌德の意味にて江原奬學基金廿萬圓を募集して翁の經營せる麻布中學校舍の改築を圖る計畫を企てました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉ハーデー翁歸國す　黒船老水兵ハーデー翁は望みの櫻も見物して、愈々九日横濱發香取丸にて歸國しました。別れに臨んで翁は多數の見送り人に對し、涙を流して「左様なら」をしました。『老水兵が東京に着いた日、市民の熱誠な歡迎は、軈て來る別離の日の悲しさを思はせた、而して今や其日は來た』とハーデー翁は出發前夜綴つた「別れの歌」に詠嘆したさうです。

◉マ博士の高齢祝賀　過去廿九年の長き日本に生活して日米親善の爲めに盡力する處多大であつたクレー・マッコレー博士は五月八日その七十五歳の祝賀會を築地精養軒で開きました。長き逸りよりは前日勳三等瑞寶章を賜り、其の功を賞されました。

◉ヘヤー高商教師逝く　東京高等商業學校教師英國人勳三等アレキサンダー・ジョセフ・ヘヤー氏は九日午後三時大學病院にて逝去す、七十歳、氏は同校の前身商法講習所時代より就任し、四十年間教鞭を取つてゐました。

◉越後まで車掌募集　東京市電氣局では初任級廿四五圓也と頻りに車掌運轉手の募集に努めてゐますが、應募者が少ないので六千六百圓の費用をかけて越後邊で大々的募集を開始しました。

◉流行性感冒猖獗　東京地方にては五月初めより一種の惡性感冒が流行し、多數の人の寄合ふ所にては、盛んに流行しました。十日から始まつた大相撲の力士中に患者多く、人氣が引立たぬ程です。

◉大阪の腦脊髓膜炎　は其後益々蔓延し、五月十一日迄に二千二百十一名を數へました。

◉女船長たらんとす　廣島縣人今滿たつ子(二一)は父が石炭船の船長なので幼少の頃から海上生活に馴れ、現在では小汽船の操縦運轉に差支へない、技倆を有つてゐるので、今回父の同意を得て、愈々船員として一生を送る事となり、正式の試驗を受けて、船長の免狀を取らうとして居る由です。

◉學習院女生の地雷見物　學習院女學部生三百名は、十三日赤羽近衛工兵大隊の作業を見學しました。そこでは橋梁破壞の地雷などが見せられました。

編輯室より

▲貰つた牡丹の花が、女王のやうに編輯室に氣高く薫つて居りましたが、日當りの強い此の室は、花の別れた早めて、僅かに三日にして散つて終ひました。▲私は居ながら訪れ來る友人方のふとしたお話に、いたく感激する毎に、『社會は大學なり』との古い金言を今更らの如くくり返して、この不文の書物の果てしなく世に收められて居ることを感謝します。▲あれ〳〵風鈴の音が街に聞えて居りますね。氣の早い都の街にはもう金魚賣りが來たのです。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、其外上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)
人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表
△壹部金五錢五厘(郵税共)
△一ヶ月(四部又は五部)金廿二錢
△三ヶ月(十三部)金六拾六錢
△半年(廿六部)金壹圓廿錢
△一年金貳圓四十錢
△外國一年分金參圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

弊店の特色

御召　織式　縞染
△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ジ候

中澁谷六百十八番地
(玉川電車通西郷邸前)
百足屋染物店
平田係太郎

會員募集　家事裁縫研究會

本校に於て家事裁縫兩科の研究會を毎日午後四時より二時間開會講師は各專門の大家にして文部省の檢定を受けらるゝ方にも又府縣の檢定を受けらるゝ方にも一般研究者の爲めにも適應す本校家政部高等科の生徒は聽講隨意
四月十五日開講
東京市麹町區上六番町七
私立大妻技藝學校
電話番町一二二〇番

十九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

東京麴町區三番町卅番地（市ヶ谷見附內）

電話番町 六二二番 五一六番

院長診察月木金午前及木午後六時

林、峰間兩副長は目下當院に在勤

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

電話ちがさき二番

院長診察土曜日午後、入院診後應需

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

診察毎朝 但祭日及日曜及土曜の他

宮崎葡萄液

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱 商品切手調進仕候

宮內省御用達 發賣元 甲斐產商店

東京市日本橋區通旅籠町 電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門 大野醫院

（入院隨時）

院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次

東京京橋區南鍛冶町廿七 電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科 東京至誠病院

宅診午前 往診午後

病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ブ

院長 女醫 吉岡彌生

東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地

電話番町二二五七

◎內科◎小兒科 藤井診療所

宅診午前 往診午後

藤井かう子

本郷區彌生町二番地ハノ三十三號

（電車高等學校前下車）

電話小石川一六四六（呼出し）

產科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代

東京府內藤新宿番衆町卅一番地

電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間

○京橋南八丁堀櫻橋際

（電京一二三一番）

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。

一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。

一、期間 自毎月十六日至翌月十五日水金午後二時より四時迄。

一、講習料 金十圓也前納の事。

一、人員 十名を以て定員とす。

一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。

一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。

一、主催 婦人矯風會本部。

一、講習主任 醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和洋

裁縫講習録

共立女子職業學校教師
文部省檢定委員
數氏及大家博士 執筆

卒業一ケ年
月謝僅に卅五錢
三ケ月一圓・一年三圓六十錢
（美本毎號百六十頁）

自宅獨習 生徒募集

□□□□
和服裁縫科
小物及細工物科
洋服裁縫科
袋物科

■國民道德 ■教育學
■裁縫教授法 ■洗濯色染
▲檢定試驗問題解 ▲質疑應答等

■裁縫だつて學校で教へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業と同樣の實力を充分に授く。■小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初歩より高等裁縫迄教授す。■完結の後は各科別に綴れば、それぐ〱立派な大部な書物となり、常に机上にありて教導す。■良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を賴りに勉强し、教科書無しに地理や歷史を習ふ樣な不便がなくなる。

内容見本附規則郵券貳錢送れ

教育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路
日本裁縫教育會
電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

美人の愛用いよ〱盛んなる

色を白くしキメを細かにする

家庭化粧料

ホーカー液

夏の日ヤケを防ぐにも此が一番でムいます

東京神田泉橋
本舗 堀越嘉太郎商店
電話神田 特長一四三 長一四四 一五
振替東京 一五六

新式箱入一瓶
定價 金二十五錢

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA